

令和元年度 防災士活動アンケート 集計結果について

調査目的：東日本大震災により、自助・共助による地域防災力の向上には、自主防災組織の機能強化が不可欠であるとの認識のもと、平成 27 年度より地域の防災リーダーとしての役割が期待される「防災士」を養成する講座を開設し、これまで 253 名が防災士として各地域で活動しているところであるが、その防災士の活動実態を把握するため、防災士活動状況アンケート調査を実施した。

このアンケート調査により、今後の防災士養成講座のあり方や、研修内容、自主防災組織への関係性を検証するとともに、防災士が活動するにあたって必要な支援を確認するもの。

調査日時：令和元年 8 月 5 日（月）

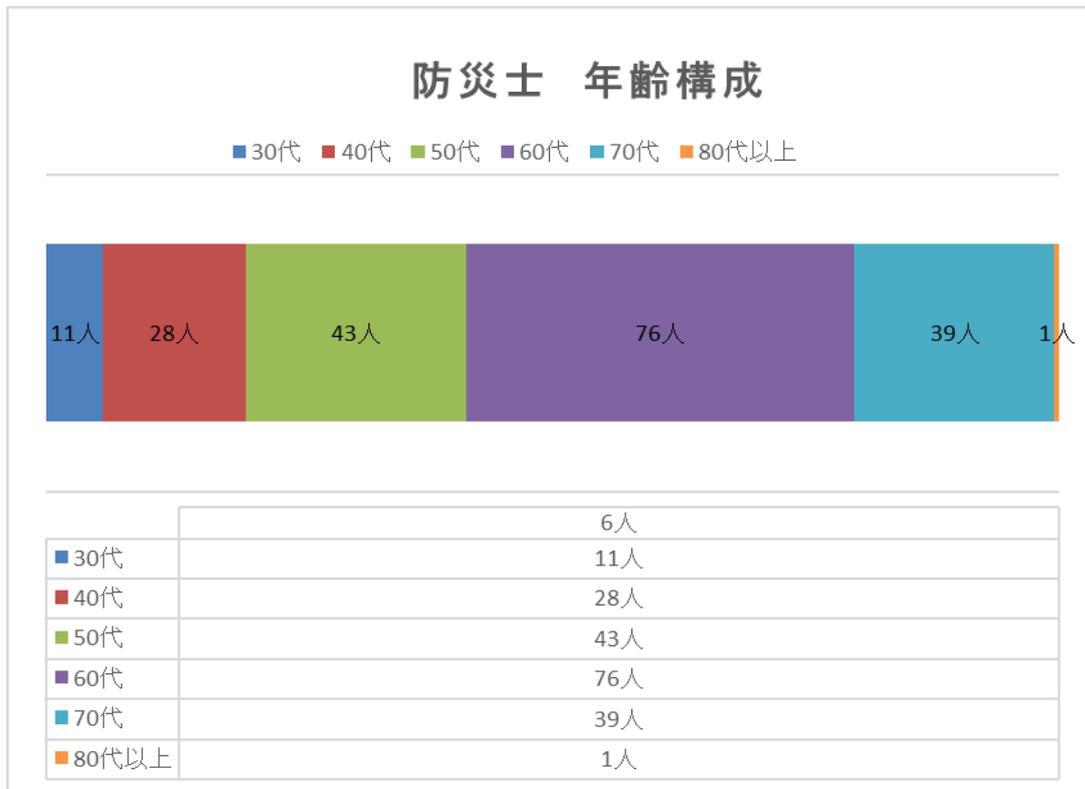
調査対象：いわき市防災士養成講座受講により防災士と認定された者 303 人

※ 令和元年 8 月 5 日現在

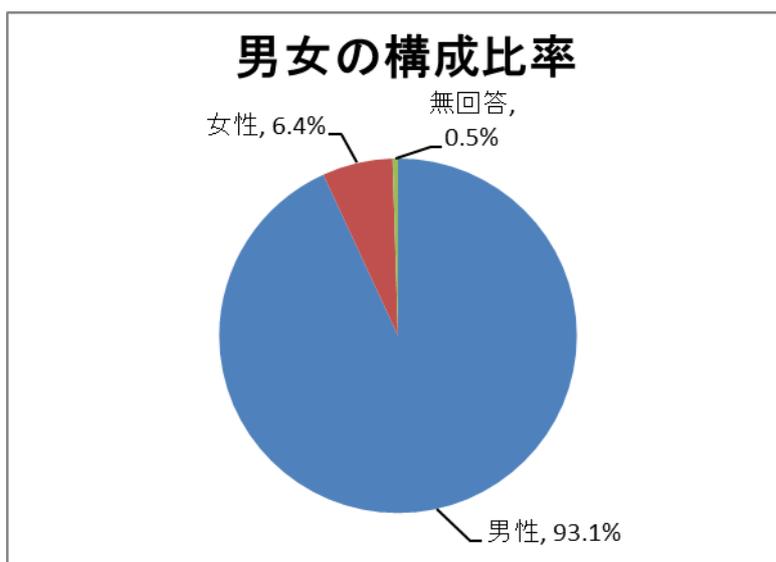
【防災士活動アンケート集計結果】

市防災士養成講座により防災士として認定された 303 名に対しアンケート調査を実施し、204 名から回答があった。(回答率 67%)

問1 あなたの年齢を教えてください。

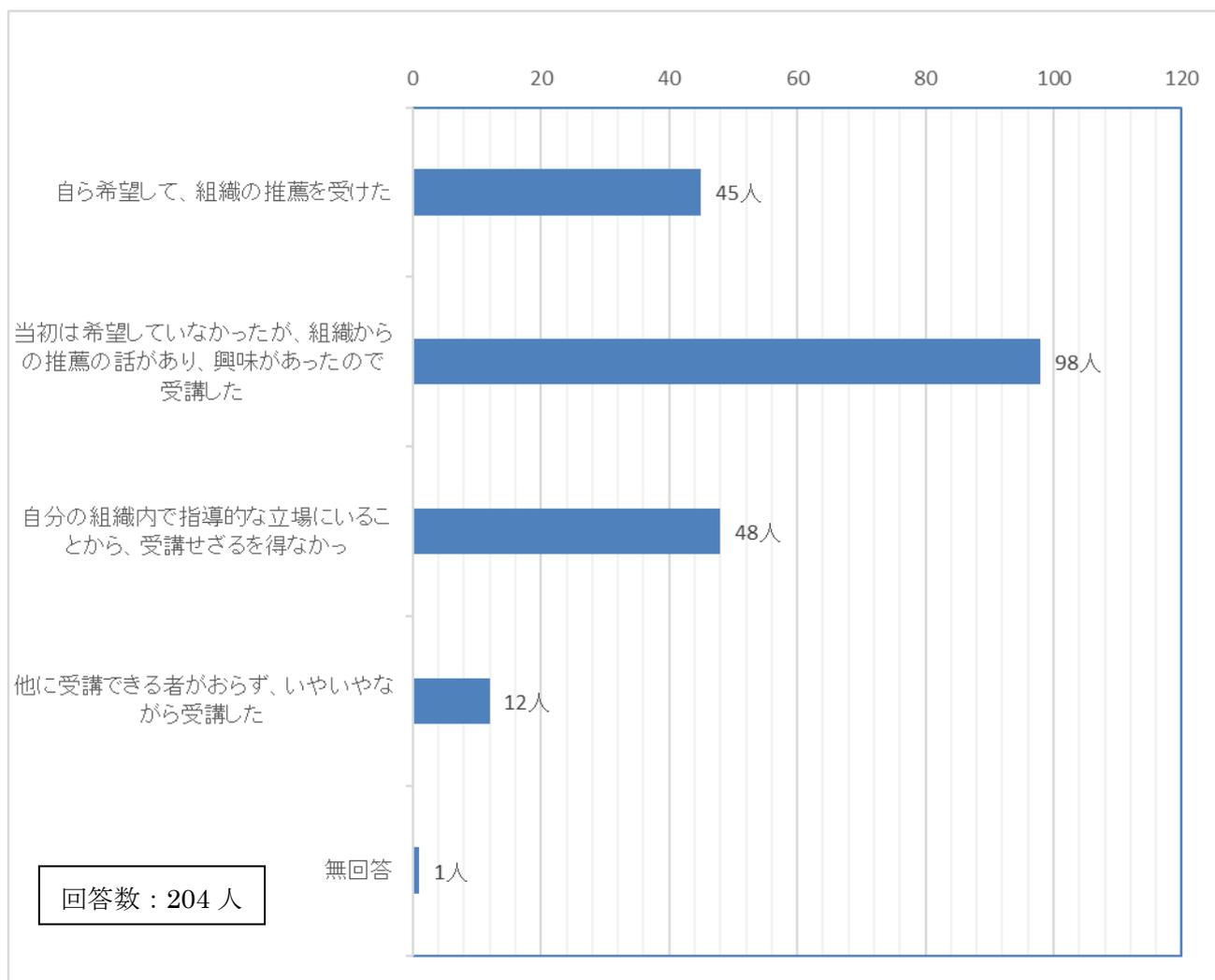


問2 あなたの性別を教えてください

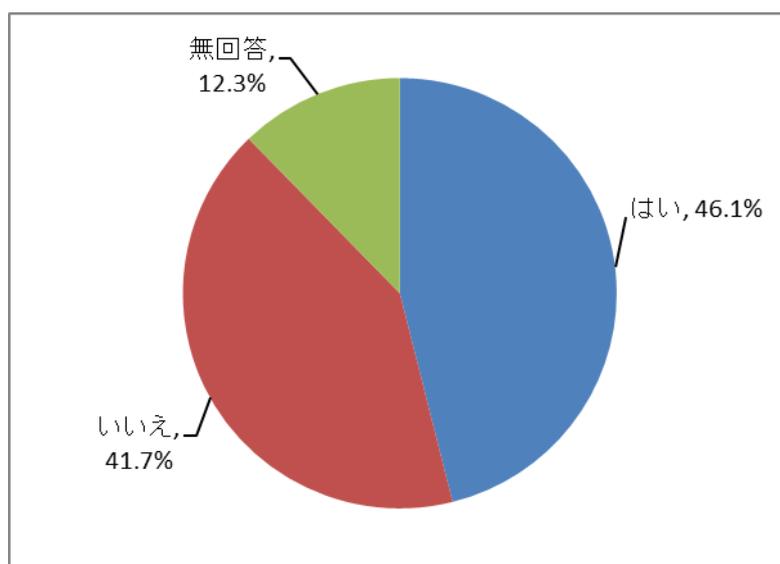


項目	回答数	比率
男性	190	93.1%
女性	13	6.4%
無回答	1	0.5%
合計	204	99.5%

問3 あなたは、どのような経緯で防災士養成講座を受講し、防災士となりましたか？



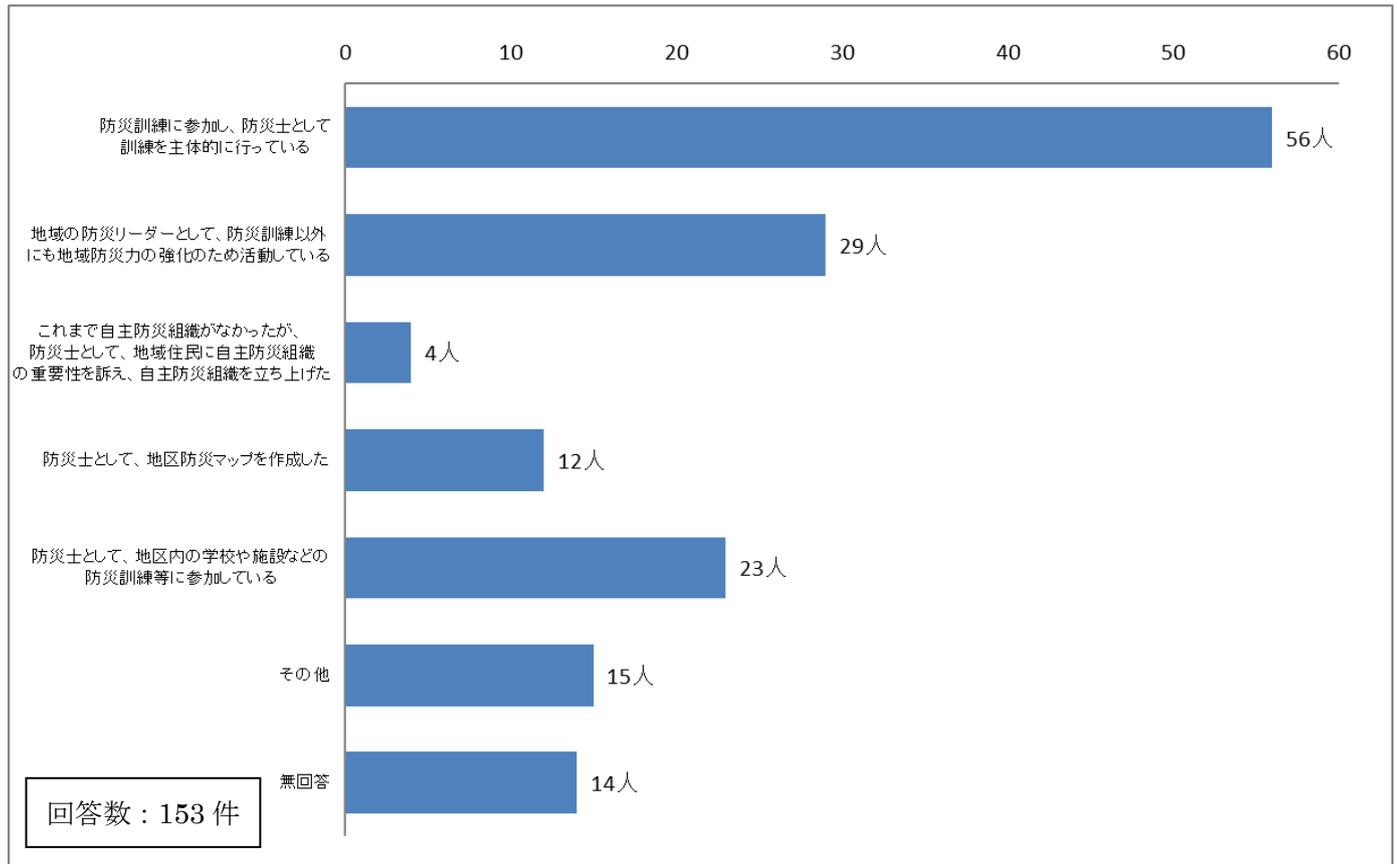
問4 あなたは防災士として、何らかの活動を行っていますか？



項目	回答数	比率
はい	94	46.1%
いいえ	85	41.7%
無回答	25	12.3%
合計	204	100.0%

問4で「はい」と回答した94名が、問5から問9までの設問に回答

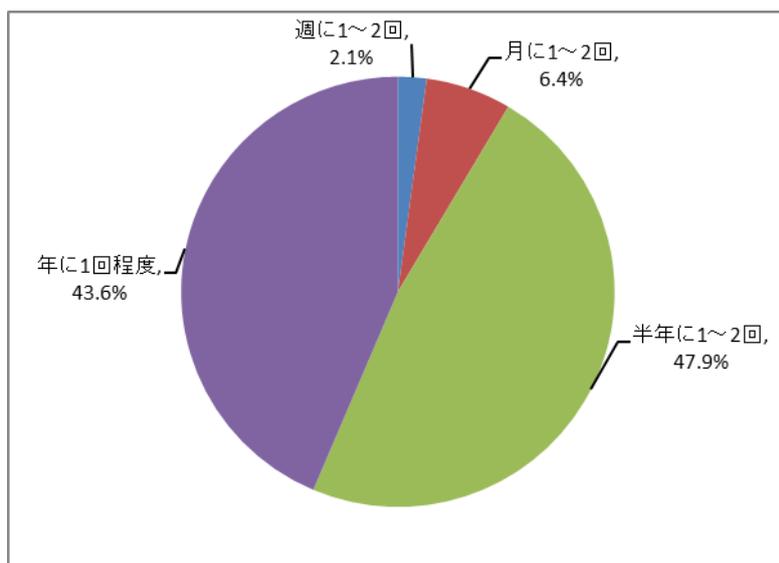
問5 あなたは防災士として、どのような活動を行っていますか？ ※ 複数回答可



【その他意見】

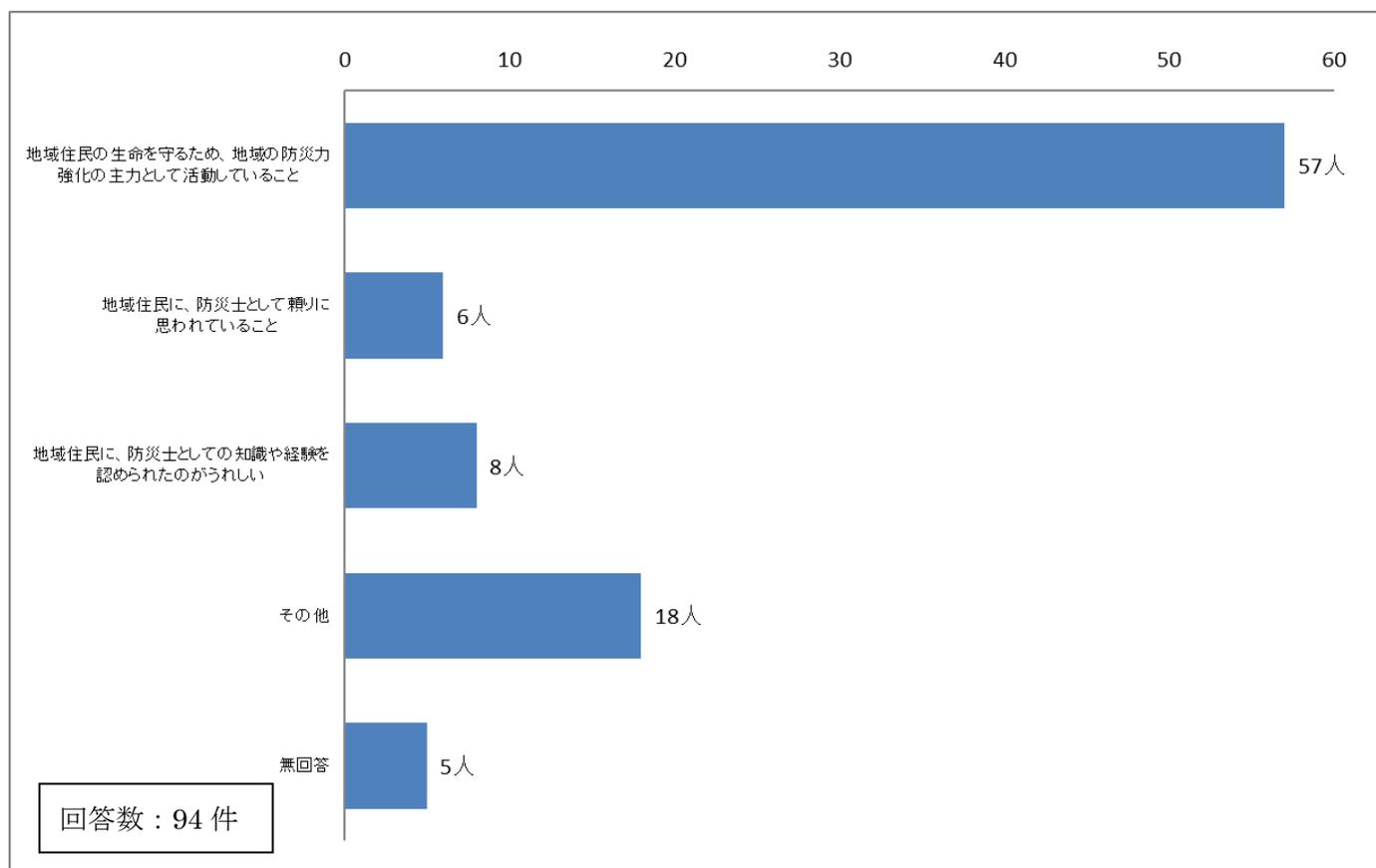
- ・ 職場での防災アドバイス、BCP作り推進活動をしている。(50代男性)
- ・ 行政区として、消防署の協力のもと、防災講話や消火器取扱い訓練を毎年9月に実施している。(60代男性)
- ・ 消防団員としての活動に、防災士として得た知識を活かしながら活動している。(50代男性)
- ・ 防災について、他人事と思われがちであり、災害情報や防災に関する情報を住民に理解できるように連絡を絶やさないようにしている。(70代男性)
- ・ 自治会からの要請により防災講話を行っている。(70代男性)
- ・ 地区内の集会所においてサロンが行われており、その中で防災意識が向上するような話をしている。なお、自主防災組織の立ち上げには至っていない。(70代男性)
- ・ 市主催の防災訓練に参加している。(70代男性)
- ・ 自宅周辺の詳細な地区防災マップの作成や、過去の被災状況の把握を行っている。(60代男性)
- ・ 防災士として得た知識を、ボーイスカウト活動の指導の際に役立てている。
- ・ 自主防災会として、消防署に協力を養成しながら、防災訓練を実施している。(70代男性)
- ・ 地区の高齢者マップ作成に参加した。(60代男性)
- ・ 自治会役員の任期を終えたが、防災士の知識を活かし、相談役として活動している。(60代女性)

問6 あなたの防災士としての活動の頻度を教えてください



項目	回答数	比率
週に1~2回	2	2.1%
月に1~2回	6	6.4%
半年に1~2回	45	47.9%
年に1回程度	41	43.6%
合計	94	100.0%

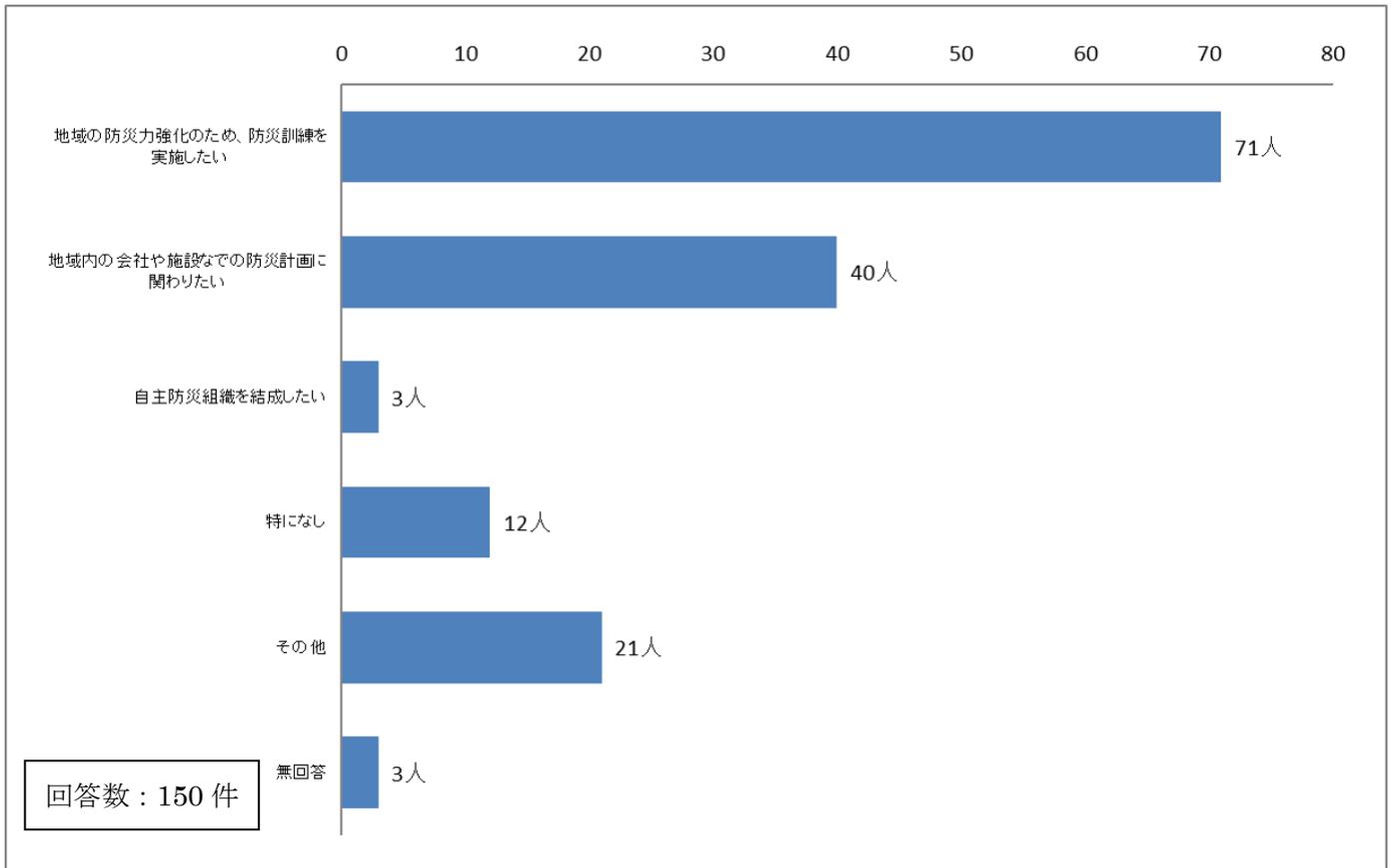
問7 あなたが防災士として、やりがいに思っていることは何ですか？



【その他意見】

- ・ 防災士の知識を消防団活動に活かしている。(50代男性)
- ・ 防災士としての知識の向上と自信。(70代男性)
- ・ 自治会の役員として地域住民へ、防災意識の啓蒙活動を行っている。(70代男性)
- ・ 地域に貢献できること。(60代男性)
- ・ 地域住民と、防災について話ができること。(60代男性)

問8 あなたが今後、防災士としてやりたいことはなんですか？ ※ 複数回答可



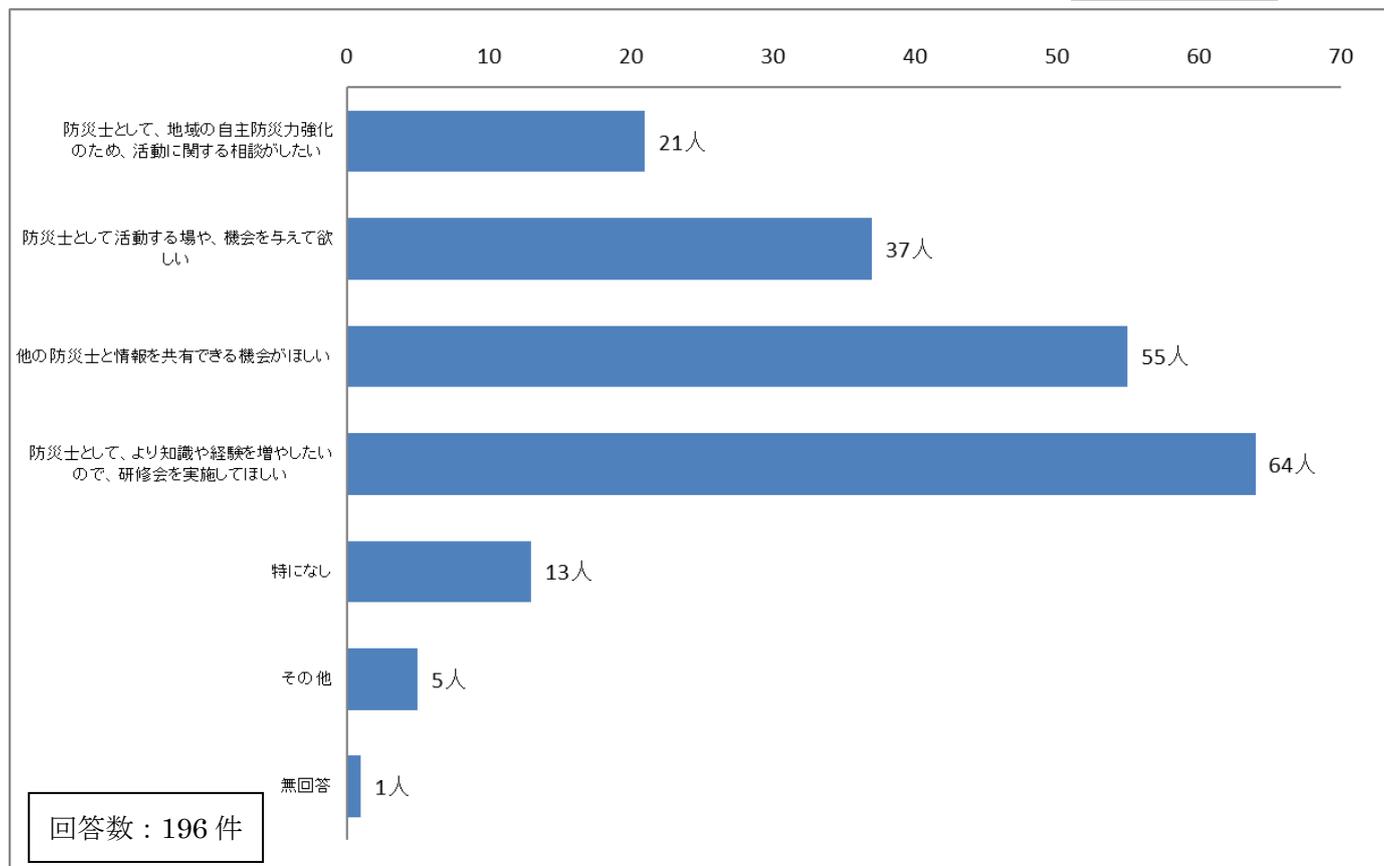
【その他意見】

- ・ 地域の社会的弱者のための防災について、より深く考えたい（60代女性）
- ・ 既存の防災会は、組織に情熱がないことから、常在戦場の気持ちを注入したい。（70代男性）
- ・ 自治会役員に防災士養成講座の受講を勧めたい
- ・ 防災士として日常的に、豪雨、火山噴火、地震や異常気象等が発生した場合の対応策を考え、地域住民への周知を図りたい。（60代男性）
- ・ 地区住民の世帯構成や状況を把握する民生委員や、消防団と情報を共有し活動する。（60代男性）
- ・ 地区内の防災士間で協力関係を築きたい。（60代男性）
- ・ 地区のイベントで防災ゲームなどを実施し、地区住民の防災意識の向上を図りたい。（60代男性）
- ・ 自治会との交流や、地区住民が協力し合える自主防災組織を作りたい。（30代男性）（60代男性）
- ・ 地域の子供たちに対して防災教育を実施したい。（70代男性）
- ・ 地区内の危険個所などを記載した防災マップを作成したい。（60代男性）
- ・ 地域の大きな問題点である「高齢化」について、災害発生時に、地区内の民生委員や自治会役員等と連携してどのような行動をとれば良いか検討したい。（60代女性）
- ・ 災害時要援護者とその支援者に対して、避難訓練を実施したい。
 ベットから車いすやタンカへの移動、聴覚障がい者や視覚障がい者への誘導方法など、名簿だけでは、どのくらい行動できるのか分からない。
 また、各地区で実施している防災訓練では、要援護者等について社会福祉協議会で担当しているが、現実に即していないと感じる。（60代女性）
- ・ 地域住民に、身の周りの危険個所について目を向けたり、気付いたりできるような機会を作り、

活動したい。(40代男性)

- ・ 地域の高齢者の避難方法などの知識を学びたい。(60代男性)

問9 あなたが防災士として活動するにあたり、市に望むことはなんですか？ ※ 複数回答可



【その他意見】

- ・ 若い世代の防災士の育成を希望する (60代男性)
- ・ 他の防災士の活動をもっと知りたい。(70代男性)
- ・ 支所単位ではなく、地区単位での防災訓練を実施して欲しい。(60代男性)
- ・ 防災士の資格取得のさらなる支援と、自立した自主防災組織体制の基礎作りに協力して欲しい。(50代男性)
- ・ 消防団員の防災士資格取得が、地域防災に大変重要であると考えてる。
自治会単位での防災士は、高齢者が多く、自主防災組織立ち上げ時には有効だが、その後の防災活動の継続が難しい。(50代男性)
- ・ 防災士に必要な最新の知識の提供。(70代男性)
- ・ 地区内の防災意識向上のため、防災関連情報を年に1～2回回覧して欲しい。
- ・ 市(危機管理課)における防災対策として重要なことの一つに、「情報」があり、情報の共有は意識の共有に繋がると考えている。
情報の発信は、インターネットなどを介した防災メールや市ホームページなどで行っていると思うが、SNSなどの活用をもっと積極的に行って欲しい。
例として、SNSの中に防災関連のコーナーを設け、災害情報の他に、防災のワンポイント情報や、防災用語の解説、地域の先進事例を掲載するなど活用してはどうか。
情報の発信は、防災に関するPRに繋がり、それが市民の防災意識の向上となると考えます。

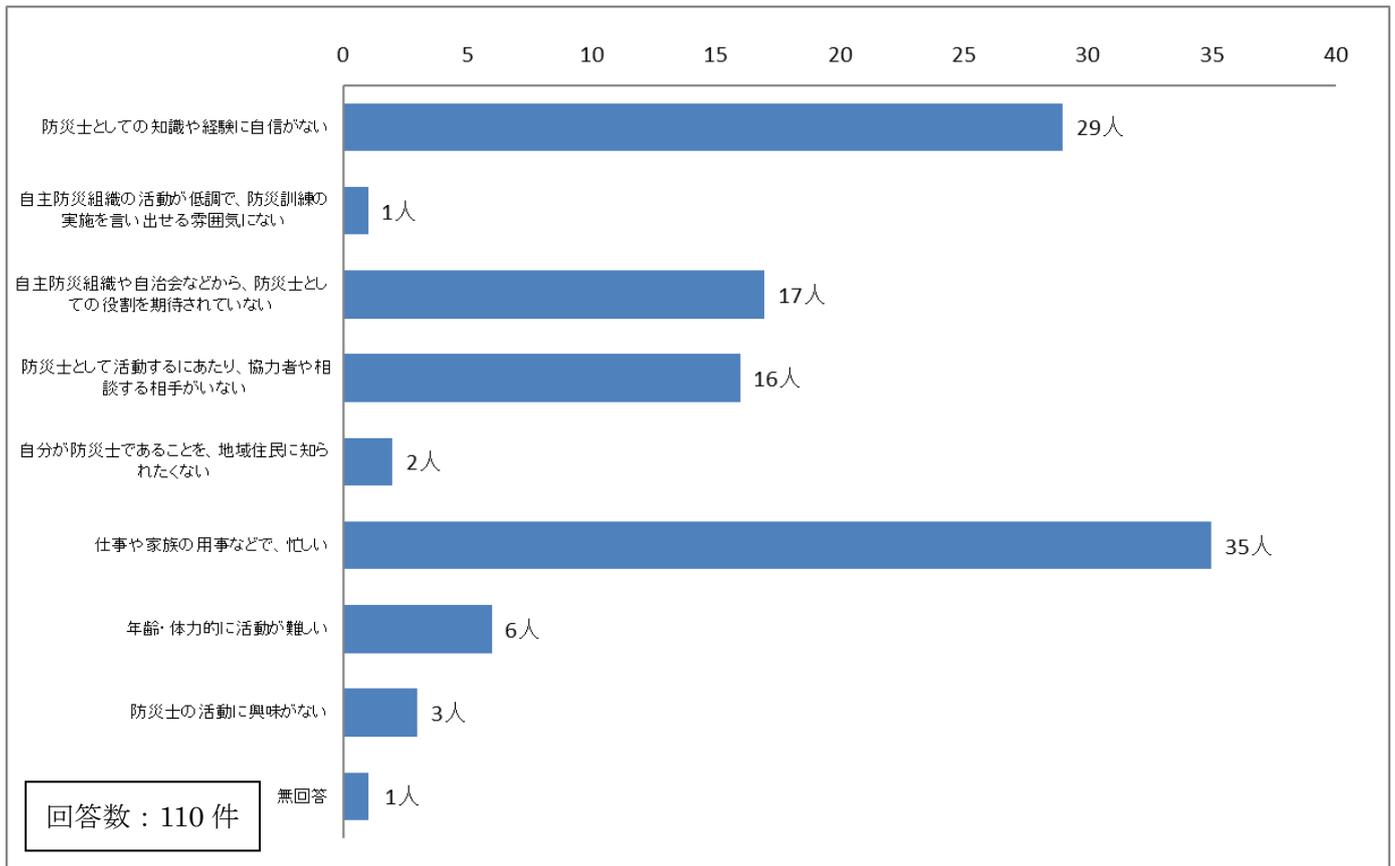
(50代男性)

- ・ 防災士養成講座は大変良い事業と思うが、乳幼児や障がいを持つ子どもを育てている若い主婦、これからの未来を担う大学生などに受講の機会を与えて欲しい。

防災士の資格取得には、費用の負担も発生することから、防災に対して志のある人たちが一人でも多く受講できるように、そしてそうした方たちが活躍し安全安心の生活ができるいわき市になって欲しい。(60代女性)

問4で「いいえ」で回答した85名に対する回答

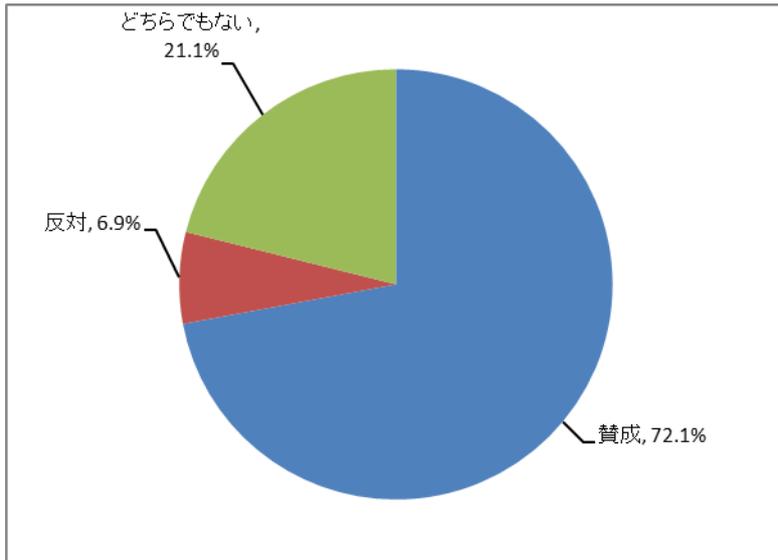
問10 あなたが、防災士として活動できない理由を教えてください



【その他意見】

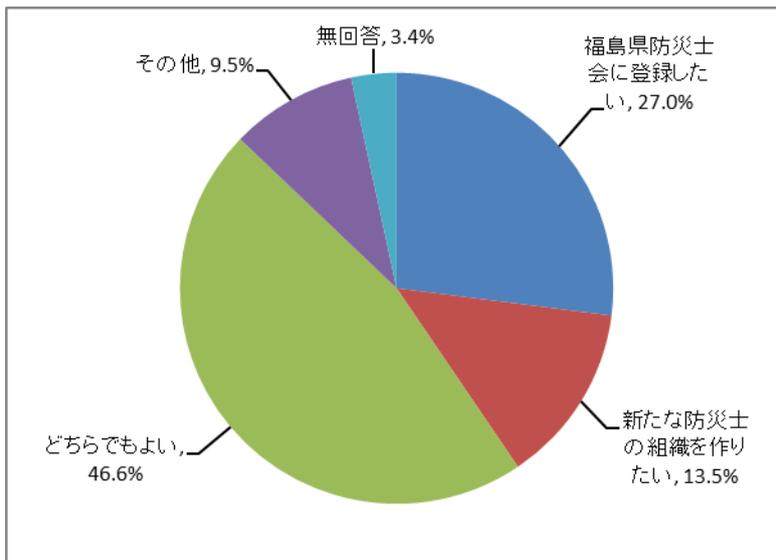
- ・ どんな災害を想定して訓練してよいか分からない。(70代男性)
- ・ 消防団活動と重複する。
- ・ 活動できる場がない(60代男性)
- ・ 自治会の組織内に、防災士の役割が位置づけられていない。(70代男性)

問 11 各自主防災組織において活動している防災士のみなさんの、情報共有や、スキルアップ、活動の協力体制を構築するため、組織的な防災士の活動についてお伺いします。



項目	回答数	比率
賛成	147	72.1%
反対	14	6.9%
どちらでもない	43	21.1%
合計	204	100.0%

問 12 組織的な防災士の活動に賛成の方にお伺いします。
組織的な防災士の活動として、どのような方法を希望しますか？



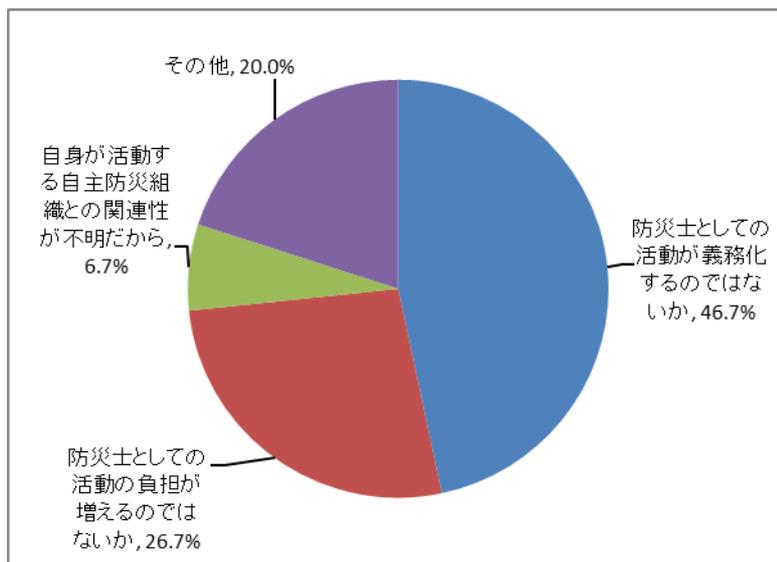
項目	回答数	比率
福島県防災士会に登録したい	40	27.0%
新たな防災士の組織を作りたい	20	13.5%
どちらでもよい	69	46.6%
その他	14	9.5%
無回答	5	3.4%
合計	148	100.0%

【その他の意見】

- ・ 市内の防災士同士でスキルアップが図れるような場を希望する。(70代男性)
- ・ 各自主防災会に属する防災士の組織化を希望する。(70代男性)
- ・ スキルアップ研修や講習会などの開催頻度を増やして欲しい。(50代男性)
- ・ 他地区の防災計画等の具体的な活動状況について、意見交換できる機会が欲しい。(70代男性)
- ・ 防災士として必要な最新の知識や技術を学ぶ機会が欲しい。(70代男性)
- ・ 組織的な活動には賛成だが、市内全域での活動より自分の住んでいる地域で活動を行いたい。(60代女性)
- ・ いわき市独自の防災士会を組織し、行政と防災士が連携して地域防災力の向上を目指したい。(70代男性)
- ・ 組織化には賛成だが、なるべく金銭的な負担はなくして欲しい。(40代男性)

問 13 組織的な防災士の活動に反対の方にお伺いします。

あなたが、組織的な防災士の活動に反対する理由は何ですか？



項目	回答数	比率
防災士としての活動が義務化するのではない	7	46.7%
防災士としての活動の負担が増えるのではない	4	26.7%
自身が活動する自主防災組織との関連性が不明だから	1	6.7%
その他	3	20.0%
合計	15	100.0%

【その他の意見】

- ・ 地区の防災活動において、防災士の人数が足りない上、若い世代の育成が必要である。そうした体制ができたのち、組織的な活動が可能となると思う。(50代男性)
- ・ 地区内の防災活動を行うことは、防災士という資格の有無ではないから。(50代男性)